

平成24年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H24成果目標(指標)	備考 (今後の展開方針等)
事業番号	事業概要			H24事業内容	H24活動目標(指標)		
パ	細						
1		本部町観光拠点形成事業	H24～ H28	/			
1	①	花いっぱい運動の推進事業	H24～ H28	一年を通して花いっぱいのまちづくりを推進するために、町内の各種団体と連携して国道及び県道沿いにプランターの設置や花の植え付けを行う。また、「本部町まちぐるみ花いっぱい推進協議会(仮称)」を設立し、花いっぱいのまちづくりを推進する。	美化作業への参加者数:270人 プランター設置数:540個	美化作業への参加者数:270人 プランター設置数:540個	
1	②	八重岳及び町有公園の美化推進事業	H24	町有公園等の観光施設には多くの木々や花が植えられているが、亜熱帯気候地域に位置する沖縄(本部町)は、適切な管理を行わなければ雑草の繁茂が早く、花が見えなくなる現状である。魅力ある観光地づくりを推進し、観光施設の整備を図るためにも、景観美化等を実施する。	八重岳線沿い(約4.5km間) 剪定、伐木、植栽、下刈り	観光地美化の実施:4.5km	
1	③	観光アクセスロード整備事業	H24	本町を訪れる観光客は散策を楽しむ傾向があるが、町内にある観光文化施設へのアクセスロードは老朽化が進み歩行者にとって危険な道路となっている箇所が多くあるため、観光客の安全や観光イメージを損なわないためにも、アクセスロードの整備を実施する。	アクセス道路の整備(カルスト散策道・石くびり道・土帝君道)約L=500m	アクセス道路の整備(カルスト散策道・石くびり道・土帝君道)約L=500m	
1	④	周遊観光実証調査事業	H24～ H28	観光客に認知されていない本部町内の穴場的スポットを観光コース化するとともに、周遊観光事業としての実施可能性調査や観光ガイド等の人材育成を実施する。	周遊観光実証調査	新たな観光コースの創出数:2ルート	(今後の展開方針) H25年度:運営体制づくり H26年度以降:本格運営
1	⑤	もとぶ港まち活性化事業	H24	平成24年5月に整備された渡久地港プロムナードは、近くに町営市場や飲食店などが多数ある町中心地域であり、本スペースの有効的な活用と新たな観光スポットを形成するため、商工会や観光協会と連携し『もとぶ夜市』を開催し、観光客の誘客を図る。	みなと夜市の実施 イベント開催数年8日	みなと夜市の実施 イベント開催数:年8日、来訪者数:500名	
1	⑥	外国人対応観光人材育成事業	H24～ H28	近年、外国からの観光客が増加してきており、外国人インバウンドを促進するためにもホテルや飲食店、土産物店などの観光業や商工業従事者などの関係者に対し、語学や郷土文化の研修等を実施し、外国人サービス向上を図る。	中国語講座の実施 講座開催数:年9回	観光人材の育成数:10名	

H24活動目標(指標):平成24年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H24成果目標(指標):平成24年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(毎年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成24年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H24成果目標(指標)	備考 (今後の展開方針等)
事業番号	事業概要			H24事業内容	H24活動目標(指標)		
パ	細						
1	⑦	観光施設設備整備事業	H24	高齢化社会を迎える中で、観光に訪れるお客様も、お年寄りの団体観光が増えてきており、高齢者に配慮した環境整備が急務である。町内における観光施設の公衆トイレを整備し、高齢者にやさしいトイレ環境を整備する。	公衆トイレ整備	公衆トイレ整備数: 1箇所	
1	⑧	市場駐車場整備事業	H24	町営市場の慢性的な駐車場不足の解消のため、市場駐車場を整備し、観光客等の利便性を向上させることにより、集客力の増大を図り、観光の振興につなげる。	公共駐車場整備	公共駐車場台数 0台 → 32台	
1	⑨	本部半島ジオパーク推進事業	H24～ H28	平成25年度に日本ジオパークに認定されることを目標に、本部半島のジオサイト(地球科学を中心とした自然・文化のみどころ)調査、住民理解の促進、ジオツアーの企画・実施、ホームページの作成、解説板の整備等を行う。	ジオツアーの企画・実施 HP作成 解説板設置	ジオツアーへの参加者数: 60人	(今後の展開方針) H25年度: ジオパーク認定
1	⑩	自然体験研修施設整備事業	H24	旧健整分校施設を有効活用するために、町内の海・山を利用した自然体験施設を整備し、本町の児童生徒をはじめ、修学旅行等で本町を訪れる児童生徒にも施設を活用して自然体験を提供し、児童生徒の情操の教育と、観光振興にも繋げる。	シャワー施設整備	シャワー施設整備: 1箇所	
1	⑪	スポーツツーリズム環境整備事業	H24	本部町運動公園は、プロサッカーチームや実業団陸上部等の合宿施設及び競技会場として利用されているが、設備環境が不十分なこともあり、今後も安定した合宿や公認競技等の誘致のために、公認競技場の認定取得及びプロスポーツ等の練習施設としての環境整備を行い、スポーツツーリズムを通して観光振興に繋げる。	運動公園の環境整備	公認陸上競技場3種認定	
2		本部町亜熱帯農業生産体制強化事業	H24～ H28				
2	①	本部町キク拠点産地強化事業	H24～ H26	本町の拠点産地である輪菊については、産地拡大の課題となっている収穫労働の省力化を図るため、花卉選別機の整備により産地基盤の強化を図る。	自動結束ロボット付重量選別機導入数: 7台 (内訳) 沖縄県農業協同組合: 3台 沖縄県花卉園芸農業協同組合: 4台	自動結束ロボット付重量選別機導入数: 7台 (内訳) 沖縄県農業協同組合: 3台 沖縄県花卉園芸農業協同組合: 4台	

H24活動目標(指標): 平成24年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H24成果目標(指標): 平成24年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(毎年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成24年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H24成果目標(指標)	備考 (今後の展開方針等)
事業番号	事業概要			H24事業内容	H24活動目標(指標)		
パ	細						
2	②	園芸農業防災施設整備事業	H24～H25	沖縄県は台風が多々発生し、農産業に大きな被害を与えるため、台風などの自然災害に強い農業生産施設(ビニールハウス)の整備を図り、台風時の農業生産物被害の軽減や生産農家が年間を通して計画的な生産・販売を行える環境を整備する。	施設の整備件数:8件	施設の整備件数:8件	
2	③	本部町有害鳥獣駆除対策事業	H24～H28	近年、果樹類については、カラス・ヒヨドリ等による鳥獣被害が増大しており、生産農家の生産意欲が低下している。このため、鳥獣被害対策が非常に重要な課題となっており、その対策を実施する。	カラス捕獲箱設置数:5箱 タンカン網掛け本数:1,300本 銃器駆除数:1,000羽	鳥獣駆除数:1,500羽	(今後の展開方針) 鳥獣駆除数(累計) H28年度:7,500羽
2	④	亜熱帯バイオマス有効活用事業	H24	本町は、中山間部が多く、周年温暖であるため、草木・木材等の植物系および水産加工を主体とした動物系等バイオマス資源を豊富に有している。バイオマス資源のストックヤードの整備を図ることにより、現在焼却処分等で対応している植物系・動物系等各種バイオマス資源の総合的利活用システムを確立する。	バイオマス活用施設整備 機材整備(トラック、ショベルローラー)	ストックヤードの整備・活用	
2	⑤	水納島産業創出支援事業	H24	本町の唯一の離島である水納島は、夏期は観光、冬期は農業が中心となっている。冬期に生産される野菜は高品質で消費者ニーズも非常に高い、水納島の農業振興により島民の農業所得向上を図るため、農業用機械の整備を推進する。	農業機械の導入	農業機械の導入:1台	
2	⑥	もとぶ自産自消推進モデル構築事業	H24～H28	本町には観光客向けのホテルや飲食店等が多数立地しているが、町内にまとまった出荷組織がなく、個別の生産者単位では定期・定量出荷が困難であるため町内産の食材はほとんど活用されておらず、観光振興及び農業振興上の大きな課題となっている。ゴーヤー・キャベツを始めとする、在来ネギ、島ラッキョウ、ハンダマ、在来紅いも等、本町特有の島ヤサイ等の集出荷体制を整備し、それらを地元で消費する「自産自消推進モデル」を構築する。年間300万人が訪れる本町の観光業と農業をリンクさせ、農業振興及び観光振興の相乗効果を図り、地域経済の活性化につなげる。	生産者直売所モデルの構築 地域に適合した移動集荷・販売モデルの実証 伝統的な島ヤサイの普及	出品登録者数:20人 町内取引先数:10件	(今後の展開方針) 出品登録者数(累計):H28年度 100人 町内取引先数:H28年度 50件
3		本部町漁業生産体制強化事業	H24	高齢化や後継者不足による漁業従事者の減少や自然環境の悪化などによる水産資源の減少等により、安定した漁家経営を行うことが難しくなっている現状を踏まえ、渡久地港北側岸壁の船揚場に漁船巻揚げ機を設置し、漁業作業の効率化を図る。	漁船巻揚げ機整備	漁船巻揚げ機整備:1基	

H24活動目標(指標):平成24年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H24成果目標(指標):平成24年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(毎年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成24年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H24成果目標(指標)	備考 (今後の展開方針等)
事業番号	事業概要			H24事業内容	H24活動目標(指標)		
パ	細						
4		本部町地域産業安定化事業	H24	現在、未開拓のまま放置されている上本部飛行場跡地に、平成23年度に策定した「上本部飛行場跡地利用基本構想・基本計画」に基づき、6次産業化の実践、観光体験型農業の実践、農産物・農産加工品のブランド化など産業創出に係る企業を立地させるため用地取得を実施する。	基地跡地用地:94筆	基地跡地用地:94筆	
5		本部町文化拡充事業	H24～H28	琉球古典音楽、沖縄民謡、クラシック、ポップスなど、ジャンル枠を超えて多数の音楽家を輩出している本町を「地域一体型音楽のまち」としてイメージを確立し、様々なジャンル及び地域とのコラボレーションによる音楽イベントを開催しまちの活性化につなげる。 地域一体型音楽の中で、児童生徒を巻き込んで、芸能文化の継承を図る。音楽の持つ感動体験は児童生徒にとってかけがえのない体験であり、この体験を通して豊かな感性を育む。 また、これらの音楽イベントを観光客向けのコンサートとして定例化を図り、観光資源としても利活用していく。	イベント等開催:5回	イベント等動員人員数:250人	(今後の展開方針) イベント等動員人員数(累計) H28年度:1,250人
6		本部町自然環境保全事業	H24～H28	貴重な観光資源となる美しい海を保全するため、赤土流出が見られる流域の現地調査、地形調査、水文調査等を実施し、木材チップによるマルチングや、グリーンベルトおよびガラスリサイクル製品で製作したフィルターによる効果実証事業を実施する。	土砂流出流域の現地・地形・水文調査	グリーンベルト等による効果実証	(今後の展開方針) H25年度 ・防止対策事業:大小堀川流域 ・調査事業:満名川支線流域 H26年度 ・防止対策事業:大小堀川・満名川流域 ・調査事業:満名川支線流域 H27年度 ・防止対策事業:満名川流域 ・調査事業:満名川支線流域
7		本部町防災体制強化事業	H24	本部町は、美ら海水族館等の主要観光地を抱え、毎年多くの観光客が訪れる。情報が不足しがちな観光客の安全を確保するために、アクセス道路である国道、主要観光施設、宿泊施設等に海拔表示板等を整備し、防災体制の強化を図る。	海拔表示板等設置箇所数:350ヶ所 避難場所等設置箇所数:30ヶ所	海拔表示板等設置箇所数:350ヶ所 避難場所等設置箇所数:30ヶ所	
8		本部町仮戸籍等電子化事業	H24	戦争で焼失した戸籍を再編する際の経緯に基因し、従前戸籍と実家戸籍との間で誤りが多く土地、相続手続き等で支障を及ぼす場合が多々あり、国、県、市町村等の事業を進める際に支障をきたしている。 これらを電子化しサービスの改善を図る。	電算化した仮戸籍の数:11,070件	仮戸籍の電子化率:100%	

H24活動目標(指標):平成24年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H24成果目標(指標):平成24年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(毎年夏頃)までに把握できるものを記載している。